



2021年11月12日

各 位

会 社 名 菊水化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 今井田 広幸
(コード番号 7953 東証第2部 名証第2部)
問合せ先 取締役 管理本部長 稲葉 信彦
T E L 052-300-2222

2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2021年5月14日に公表しました2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表いたしました実績値との間に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 第2四半期累計期間 業績予想値と実績値との差異 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,374	76	107	45	3.60
今回実績(B)	10,669	223	280	171	13.71
増減額(B-A)	295	147	173	126	
増減率(%)	2.9	194.1	162.1	281.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	9,285	68	103	48	3.86

(2) 個別

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,595	135	65	5.19
今回実績(B)	10,030	307	245	19.65
増減額(B-A)	435	172	180	
増減率(%)	4.5	127.5	278.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	8,728	163	115	9.25

2. 差異の理由

(1) 連結 ・ 個別

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は残るものの、国内での塗り替え市場を中心とした需要の回復傾向もあり、製品販売及び工事受注が堅調に推移した事で予想数値を上回る結果となりました。

利益面につきましては、売上高の増加と高付加価値製品の販売増加による原価低減、経費削減の活動効果、為替相場が想定より円安に推移し為替差益の計上により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益ともに、当初の予想数値を上回る結果となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響や、原材料価格、原油価格、輸送費の高騰など、依然として先行き不透明で流動的な要素が多いことから、通期の連結、個別業績予想につきましては変更していません。今後修正が必要となる場合には速やかに開示いたします。

※通期連結、通期個別業績予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上